

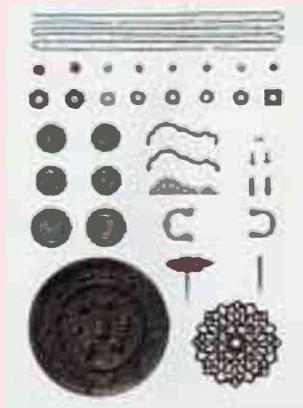
飛鳥資料館のみどころ（8）

春期特別展示

「飛鳥の奥津城ーキトラ・カラト・マルコ・高松塚ー」

飛鳥資料館では、毎年春と秋の2回、特別展示をおこなっています。平成17年度の春期特別展示は、明日香村との共催で、「飛鳥の奥津城ーキトラ・カラト・マルコ・高松塚ー」と題して、平成17年4月16日（土）から5月29日（日）の期間（会期中無休）で開催します。

当館は飛鳥地方の歴史と文化を紹介する歴史系



高松塚古墳の出土遺物

博物館として昭和50年に開館し、これまで飛鳥時代にかかわる文化財や発掘資料の公開と展示をおこなって参りました。

飛鳥地方の歴史と文化を考える上で欠かせない視点のひとつが、飛鳥人の奥津城であった終末期古墳と呼ばれる独特の形

式をもった古墳です。

飛鳥ブームの火付け役となった高松塚古墳の発見以降、中尾山古墳、東明神古墳、マルコ山古墳と相次いで特徴ある終末期古墳が発掘調査され、大きな話題となっています。ここ数年は、第二の壁画古墳の発掘調査として、キトラ古墳の発見とその調査が注目を集めています。

今回の展示では、これら飛鳥の終末期古墳をとりあげ、高松塚古墳出土品やキトラ古墳出土品など、その出土遺物を一堂に会するとともに、奈良時代の火葬墓への移行をご理解いただけるような展示を予定しております。

また、展覧会を記念してシンポジウム「文化遺産とともに一相次ぐ新発見の意義とその活用ー」を下記日程にて開催いたしますので、あわせてご来聴いただければ幸いです。皆様のご来館をお待ちいたしております。

（飛鳥資料館 西山 和宏）

<シンポジウム>

- 4月24日（日）午後1時から（要事前申込）

会場／明日香村中央公民館大ホール

※詳細は、明日香村教育委員会にお問い合わせください。